

第44号

発行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 追立泰治
編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 深堀勝人
担当委員 瀬下幸弘

カトリック
北九州地区

信徒協だより

News Bulletin for Catholic Believers' Association in Kita-Kyushu Area

主な内容

- | | |
|----|--------------------------------------------|
| 1面 | 親睦レクレーション大会 |
| 2面 | 親睦レクレーション大会
共同回心式日程 |
| 3面 | 第16回北九州平和の集い
(ダルク施設長の感想)
司祭の皆さんと懇談案内 |
| 4面 | 部会からのお知らせ
編集後記 |

喜び・楽しみ・語り合い・感動の集い

10月10日(月)体育の日

親睦レクリエーション

明日に向かってスタート

美白草食系グループ誕生

ねらいを定めて…

じゃんけんならまかせろ!

さっきから休憩ばっかり

朝食抜けばよかったなあ～

少子化の時代ですが、意外にも小さなお子さんの参加が多く、用意したゲームのお土産が足りなかつたのはうれしい誤算とのことでした。今後が楽しみです。(二面へ続く)

ゲームは、若者にはグリーンソフト、高齢者にはグランドゴルフ、幼児さん向きのかけっこ、全員参加のじゃんけん列車、パン食い競争、飴食い競争、リレーなどが行われ、私もついつい恥も外聞もなく走ってしまいました。特に青年部の方々のご尽力とサービス精神あふれるパフォーマンスには毎回感動し、感謝しています。

【門司教会】桑野貴巳子
当日は素晴らしいお天気でした。新田原グランドでは、信徒協主催のレクリエーションに約200人の老若男女と3名の神父様がゲームや競技に参加して、全身で喜び、悔しがり、応援し、おしゃべりし、楽しく感謝のうちに終えることができました。また、普段お目にかかるない他教会の方々と久しぶりにお会いし、元気を確認しあったり、情報交換して旧交を温めました。



「ウーコンどん」と走ったよ

(1面続き) 門司教会では大人13名、中学生3名、小学生2名の計18名が参加しました。主日のミサ後のお知らせで、李神父様が3週続けてご案内くださいました。何事にも神父様が積極的にお勧めくだされば参加者が増えるのではないでしようか。ちなみにわが亭主どのは、当日の明け方まで雑炊やお蕎麦の仕込み、焼き芋の段取りに奮闘し、関係者にお手伝いいたいた甲斐あつて、お陰様で焼き芋は完売し、熊本地震被災者支援に2万円貢献できました。ありがとうございました。

【天神町教会】二口 仁子
親睦レクリエーションには北九州地区の各教会からたくさんの方々が集まり、多くの信者が楽しめたようでした。今回記念したゆるキャラ「うーこんどん」を、列福のPRと福岡教区の北九州地区の信者さんとの触れ合いのために、4人の信者さんと共に無償で派遣して下さいました。

子どもたちも大喜びで、「うーこんどん」もたくさんの人達と一緒に無償で派遣して下さいました。

北九州市出身の大坂教区典礼委員会の方が仲を取り持つて下さって、高山右近列福を記念したゆるキャラ「うーこんどん」を、列福のPRと福岡教区の北九州地区の信者さんとの触れ合いのために、4人の信者さんと共に無償で派遣して下さいました。

子どもたちも大喜びで、「うーこんどん」もたくさんの人達と一緒に無償で派遣して下さいました。

【小倉教会】北川 順也
ここ数年では最高の秋晴れに恵まれ、準備する人たちも心なしか楽しそうに見えた。この大会もようやくメジャーになってきたようで(?)今回はついにゆるキャラも登場。その「うーこんどん」は子どもたちに大人気で、あちこちで撮影会も行われ、ゲームにも参加してくれた。昼食時には各テントからバーベキューの煙と匂いが漂いはじめ、みんなそれぞれのテントにお邪魔して、おしゃべりに花を咲かせて楽しんだ。

今回も会場を盛り上げてくれたのは青年たちと子どもたち。この大会にはなくてはならない存在で、未来の教会の担い手として頼もしく思える。来年も天候に恵まれ、たくさんの人たちが集う楽しい行事に参加させていただければ皆さんとお会いしたい



準備体操が大切ぞよ

いので、ぜひお呼びくださいとのことでした。

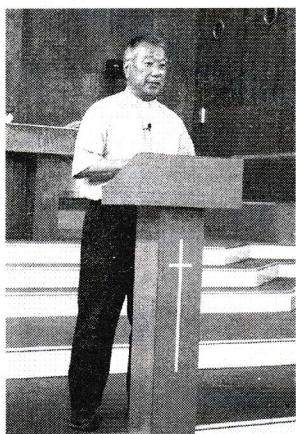
参加下さった神父様方、信者の皆さん、信徒協の役員の皆さん、秋の楽しい一日を過ごすことができて感謝です。ありがとうございました。

待降節 共同回心式日程

日付	教会名	時間
12月2日(金)	水巻	10:00,19:30
12月6日(火)	行橋	11:00,19:30
12月7日(水)	豊津	— 19:30
12月7日(水)	門司	10:00,19:00
12月9日(金)	戸畠	10:00,19:00
12月9日(金)	田川	10:00 —
12月13日(火)	新田原	10:00,19:00

日付	教会名	時間
12月15日(木)	湯川	10:30,19:30
12月16日(金)	小倉	10:00,19:00
12月16日(金)	若松	— 19:00
12月17日(土)	直方	10:00,19:00
12月19日(月)	黒崎	10:30,19:00
12月20日(火)	天神町	11:00,19:00
12月20日(火)	飯塚	10:30,19:00

8月7日(日) 第16回北九州平和の集い 浜口末男司教様、司教団の使命を語る



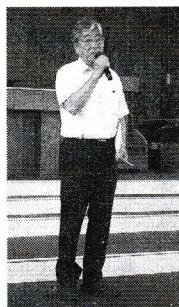
日本カトリック司教団は今秋原子力発電を撤廃しようという新しいメッセージを出します。日本は原爆を受けた唯一の国で、原発事故もあつたので日本司教団はその使命を感じています。バチカン担当者から「日本だけで原発を無くそういうのではなく他の国にも行つて手渡してください。」と言われたそうです。日本の司教団が本当にやる気があるのかどうかがこれから試されると思います。

皆様のご協力により祈りを中心とした平和の集いを持つことができます。これを心より御礼申し上げます。

平和の集い担当司祭

深堀勝人神父

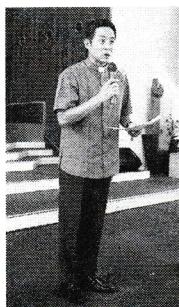
取り組み発表



平松修實さん



原山映子さん



山内保恵神父

アジアで最も貧しい東チモールは、15歳以下のこどもが40%います。今必要なことは教育です。しかし東チモールを支援するというのは、実はすごく難しいのです。解けないクイズを解くような難問だと思います。

「平和」とは共生の実現であると思います。被災者支援の場合は特に、遠くにいる他人とどう共生できなのかがテーマとなります。簡単にいえば誰かと友達になることですが、平和に貢献することだと思います。



子どもたちによる手話コーラスで盛り上がりました



ご案内

司祭のみなさんと信徒の懇談会

2017年1月15日(日)15時~17時 小倉教会

テーマ

「明日の教会を考えよう」(第2弾)
—何を、どのようにすればよいのでしょうか—

少子高齢化・青少年・召命・信徒の役割・教会のこれから…etc
どなたでも懇談会にご参加下さい。

祈りと平和の義援金は

286,016円

東チモールの
「聖イグナチオ学院基金」

奨学金、学校運営補助などに
使われます。
ありがとうございました。

聖書部会より

社会福音部会より

NPO法人エルピス会

広報部会より

編集室の窓

聖書講座新年度計画

A C O

書籍のご紹介

*前号に続き、更なる歴史を振り返りましょう。「福岡教区信徒使徒職協議会発足25周年記念誌」とともに」(1997年)を垣間みると…

信徒協だより44号が発行される頃に山元神父の講話(「いつくしみの聖年の閉幕にあたって」11月20日・小倉教会)

カトリック労働者運動(A C O)「働く人」104号が出版されました(11月1日)。特集テーマは「神が望まれる社会

カトリック中央協議会より、教区信徒使徒職協議会発足25周年記念誌「今こそ原発の廃止を―日本カトリック教会の問い合わせ」が10月4日に発行されました。

第二バチカン公会議後、信徒の使徒職に光が当たられ、

が行われますが、そのときアンケートを集め新年度の聖書講座計画をたてる予定です。信徒協だより45号でお知らせいたしたいと思います。

聖書部会担当 德永 哲
(戸畠教会)

カトリック書店のほか、一般書店、Amazonなどのインターネット書店でもお買い求めいただけます。この書は日本カトリック司教協議会『今こそ原発の廃止を』編纂委員会・東日本大震災から8か月後の2011年11月に司教団が発表した脱原発のメッセージを補完して、科学的、哲学的、神学的な裏づけをなす。

カトリックアクション団体による布教活動が見直され、教区信徒協発足を「快挙といつても過言ではありません」と書かれています。また年表から見える表記が「救ライ

と現代の環境思想を踏まえた核をめぐる倫理的な考察を開する。とされています。

カトリック労働者運動(A C O)「働く人」104号が出版されました(11月1日)。特集テーマは「神が望まれる社会

カトリック中央協議会より、教区信徒使徒職協議会発足25周年記念誌「今こそ原発の廃止を―日本カトリック教会の問い合わせ」が10月4日に発行されました。

第二バチカン公会議後、信徒の使徒職に光が当たられ、

が行われますが、そのときアンケートを集め新年度の聖書講座計画をたてる予定です。信徒協だより45号でお知らせいたしたいと思います。

聖書部会担当 德永 哲
(戸畠教会)

カトリック書店のほか、一般書店、Amazonなどのインターネット書店でもお買い求めいただけます。この書は日本カトリック司教協議会『今こそ原発の廃止を』編纂委員会・東日本大震災から8か月後の2011年11月に司教団が発表した脱原発のメッセージを補完して、科学的、哲学的、神学的な裏づけをなす。

カトリックアクション団体による布教活動が見直され、教区信徒協発足を「快挙といつても過言ではありません」と書かれています。また年表から見える表記が「救ライ

研修会予定
典礼部会より
第2回目の典礼部会を8月29日に開催しました。平和の集いの振り返りと、2016年度の典礼研修会について話し合いました。その研修会予定をお知らせ致します。

もつて生きていける社会を作ろうー」。具体的な実社会を、司祭、牧師、信徒、青年などそれぞれの立ち位置から福音的展望を語っています。

カトリック書店のほか、一般書店、Amazonなどのインターネット書店でもお買い求めいただけます。この書は日本カトリック司教協議会『今こそ原発の廃止を』編纂委員会・東日本大震災から8か月後の2011年11月に司教団が発表した脱原発のメッセージを補完して、科学的、哲学的、神学的な裏づけをなす。

カトリックアクション団体による布教活動が見直され、教区信徒協発足を「快挙といつても過言ではありません」と書かれています。また年表から見える表記が「救ライ

典礼部会より



頒価：400円
問い合わせ 岩本ナセ
(水巻教会)

B 5判：50ページ

（水巻教会）

教区信託協 研修会のお知らせ



研修会のお知らせ

今年2月に開催しました研

修会と同じように、分科会形式とします。北九州地区としては「憲法分科会」を担当し、その講師に林尚志神父（下関労働教育センター長）

は、武力によらない平和を願い、年3回会報を発行しています。31号を11月10日に発行して、現在配布中です。ご希望の方にもお送りしますのでご連絡下さい。

問い合わせ 高瀬紀子
(黒崎教会)
対象／全信徒
講師／アレキシオ白浜満司教様
（広島教区長）
対象／全信徒
講師／谷口初男
(新田原教会)

対象／全信徒
講師／アレキシオ白浜満司教様
（広島教区長）
対象／全信徒
講師／谷口初男
(新田原教会)

対象／全信徒
講師／谷口初男
(新田原教会)

対象／全信徒
講師／追立泰治
(信徒協会長・行橋教会)

対象／全信徒
講師／谷口初男
(新田原教会)

対象／全信徒
講師／谷口初男
(新田原教会)